

保育おおさか

大阪府社会福祉協議会・保育部会(大阪府保育協議会)

令和6年12月1日

No.592



発行人 森田 信司

編集人 向井 秋久

大阪市中央区中寺1丁目1-54

TEL.06-6762-9001

FAX.06-6768-2426

https://www.niji-tumi.net/



クリスマス

寝屋川市

認定こども園
石津保育園

令和6年度

各種表彰受賞者

(敬称略/順不同)

◆全国保育協議会会長表彰15人

●久米千代子(安威たんぽぽ学園) ●生頼和子(山手台保育園) ●武内晴子(認定こども園旭ヶ丘学園) ●常林智美(常称寺保育園) ●福岡好江(鶴アサヒヶ丘保育園) ●山下直美(認定こども園私部保育園) ●金山由佳(千塚こども園) ●吉田恵(常徳保育園) ●柳澤享代(惣社こども園) ●安食美保(しらさぎ保育園) ●戸谷左知子(幼保連携型認定こども園ベルキンダー安井) ●青山周江(龍谷保育園) ●小畑知子(清和こども園) ●秦純子(認定こども園ピアノ道教寺) ●赤井理恵(認定こども園双葉児童園)

◆大阪府社会福祉事業従事者表彰20人

●八田道代(認定こども園豊中ほづみ保育園) ●増原早苗(長尾保育園) ●向井佳与(さだ保育園) ●寺田仁美(三矢ゆりかこ保育園) ●川瀬貴子(くずはあけぼの保育園) ●佐野素子(牧野保育園) ●井口ルミ(認定こども園みよし保育園) ●濱田和代(キリン第二こども園) ●石原敬子(高鷲保育園) ●西尾容子(高向保育園) ●北畠明子(まっばら駅前おおぞら保育園) ●中野昌子(おおぞら保育園) ●小谷豊(認定こども園泉北若竹保育園) ●安食美保(しらさぎ保育園) ●中和子(おおぞらこども園) ●江藤美紀(南海かもめ認定こども園) ●中山ひろみ(日の出翼西園) ●椎葉真美(きたの旭ヶ丘学園) ●八木あゆみ(東桃谷幼児の園) ●島元真紀子(幼保連携型認定こども園成育児童センター)

◆全国社会福祉協議会会長表彰(功労表彰)7人

●重見将治(千里ニュータウンこども園)

令和6年 秋の叙勲・褒章

瑞宝双光章

社会福祉法人つつみ会
たんぽぽ学園 理事長(元園長)
みすみ かずよし
三角 和義 様

瑞宝単光章

認定こども園石津保育園
副園長
にしむら あけみ
西邨 明美 様

認定こども園アンビー
保育教諭
き さ き ほ ら あ け み
佐々木原 明美 様

幼保連携型認定こども園
神田保育園 保育教諭
にしじま じゅんこ
西嶋 純子 様

藍綬褒章

社会福祉法人寝屋川聖和福祉会
理事長
まつおか ひろし
松岡 浩 様

◆大阪府社会福祉協議会会長表彰(功労表彰)36人

●山崎深(山崎保育園) ●乾祥政(みのりこども園) ●青山美田(寝屋川なかよし保育園) ●奥田勝之(認定こども園みよし保育園) ●山中麻恵(大典保育園) ●和田正幸(南海かもめ認定こども園) ●山本茂善(やまざんこども園) ●得喜成(幼保連携型認定こども園こもれびのり) ●有長太(南総持寺保育園) ●新谷ともえ(吹田どんぐり保育園) ●大須賀恵美(やまざんこども園) ●小池みどり(城南由認定こども園) ●岡山正正(長尾保育園) ●三見雅恵(うちこしこども園) ●椎原圭子(常称寺保育園) ●折戸祐子(常称寺保育園) ●國末真奈美(明善めぐみ園) ●四辻恵子(三矢ゆりかこ保育園) ●福岡好江(鶴アサヒヶ丘保育園) ●森田信司(若江こども園) ●池綾(認定こども園母木保育園) ●美浪律子(あひる保育園) ●伊藤ひとみ(認定こども園五月橋保育所) ●吉田晶子(幼保連携型認定こども園はくちようこども園) ●吉永みゆき(高鷲保育園) ●田嶋みか(あまのこどもえん) ●田村理依(ベビーハウス社協) ●山本靖子(明の守おかまち学園) ●和田恭一(つみ保育園) ●横野利佳子(ベルキンダー) ●柏木愛(幼保連携型認定こども園あすか保育園) ●高橋学(幼保連携型認定こども園さかい・つくしこども園) ●北野佳世(まつのみこども園) ●三浦富美代(信太保育園) ●白井隆雄(認定こども園やまだい保育園) ●平島康生(認定こども園永寿台保育園) ●近藤亜矢(すえひろこども園) ●徳田知恵(認定こども園五風舎) ●三浦真紀(大阪市立大正北保育所) ●北井三恵(野江まつのはな保育園) ●若林仁子(つるまち海の風こども園) ●小西雄太(幼保連携型認定こども園豊新聖愛園)

全保協単独開催の最終大会 奈良大会に1200名超が集まる！



令和6年10月17日～18日に全

国保育研究大会「すべての子ども
の権利と育ちを保証してい
く社会の実現」をめざして」が、
なら100年会館にて開催され
ました。第67回を迎えた今回が、
全国保育協議会最後の単独開催

となりました。

冒頭、開催地の奈良県保育協
議会の白樫学副会長が開会宣
言、全国保育協議会の奥村尚三
会長、全国社会福祉協議会の笹
尾勝常務理事、奈良県保育協議
会の栗木裕幸会長があいさつさ

れました。その中で笹尾氏
は、「社会全体で子育ての
支援を分かち合う政策は先
送りができない喫緊の課題
である。また養護と教育の
一体化の担い手である保育
士の人材不足も問題であ
る。人材確保のために、子
どもの育ちに関わるという
保育のクリエイティブな魅
力を社会に発信することが
大切である」と述べられま
した。

続く行政報告では「保育
行政の動向と課題」と題し
て、こども家庭庁成育局保
育政策課の鎮目健太氏が登
壇。保育をめぐる国の動向
と直面する課題の説明があ

りました。こども家庭庁の概要

とこども基本法の目的と基本理
念「子ども大綱がめざすべきこ
どもまんなか社会」とは何か、ま
た、誕生前から小学1年生まで
を、生涯にわたるウェルビー
ングにとつての最重要時期とし
て「はじめの100か月の育ち
ビジョン」に位置付けたこと、そ
してこども誰でも通園制度の概
要と限られた保育時間と人材不
足の中でいかに質を確保してい
くかという課題について報告さ
れました。

基調報告では「保育をとりま
く課題と全保協の取り組み」と
題して全国保育協議会の奥村尚
三会長から報告がありました。

約76年ぶりの保育士配置基準の
改善についての説明に加え、全
国保育協議会として、加算対応
ではなく法的な配置基準の改善
を要望していくということ、
チーム保育加算との整理、高い
専門性をもち保育の質の担保に
必要不可欠な存在である主任保

育士の専任加算についての要件
見直しや保育士のさらなる給与
アップのための処遇改善の推進
と簡素化の要望を進めるという
取り組みについての説明があり
ました。そして、人口減少地域
における保育所のあり方につい
ても今後も継続して検討を進め
たいと述べられました。

記念講演では作家で一般社団
法人 日本歌手協会 理事長の
合田道人氏が「童謡には秘密が
いっぱい」と題して、「七つの
子」や「まめまき」、「こいのぼ
り」「かなりや」「海」などの誰
もが知っている童謡や歌謡に隠
された秘密や思いをひもとかれ
ました。「教育者として正しいこ
とを子どもたちに伝えることが
重要」と述べられたことが印象
的でした。

閉会には全国保育協議会の森
田信司副会長が登壇。「次回の
令和7年度は全国保育協議会と
全国保育士会が協働し、保育者
の専門性を高めるべく研究会の
質向上に向け、一本化した『全
国教育・保育研究大会』として
令和7年11月20日・21日に東京
都で開催予定です」と締めくく
られました。

(編集委員 R・Y)



ねごと



先日、私の園の運動会が
ありました。天気にも恵ま
れ気温も過ごしやすく、運
動会日和。子どもたちの頑
張る姿に毎回感動と感謝の
気もちになります。そして、
私にとつてもう一つ特別な
ことがありました。それは
私の娘の運動会も同じ日
だったこと。娘からは「絶
対見に来てね!」と何度も
言われていました。実は去
年も日程が重なって娘の運
動会を見に行くことができ
ませんでした。今年、娘は
年長児。部だけでも見られ
るように職員も協力してく
れ、途中で抜けて見に行く
ことにしました。幸い両園
の会場の距離は近く、私の
出番が落ち着くタイミング
で急いで移動。着いてすぐ
娘を探し「見にきたで」と
声をかけました。笑顔で喜
んでくれた姿を見た時は、
親としてホッとした瞬間で
した。娘の種目を見届けた
後、すぐに引き返し仕事に
戻りました。娘との約束を
果たすことができ、最高の一
日でした。(編集委員 H・T)

みんなが主役！
明るく楽しくなる
保育現場の秘訣！

保育のまど 200

ブラッシュアップ① 前に踏み出す力 Action

ほめ育シニアコンサルタント
中園 暁子 氏



早いもので師走です。今年のこの「保育のまど」の年間目標は「お互い学び、みんなで育つ」ですが、皆さま、お互い学んでいますか？そして子どもたちに負けないくらいすすく育っていますか？年齢を言い訳にせず学んで成長を続けたいですね（自分にも言っています汗）。

今月はいよいよ社会人基礎力の3つの能力の中の1つ、「前に踏み出す力」についてです。経済産業省によると、

「前に踏み出す力（Action）…『主体性』『働きかけ力』『実行力』

指示待ちにならず一人称で物事を捉え、自ら行動できるようなること、とあります。では一つずつ見ていきましょう。

◆主体性…映画の主人公はなぜカッコいい？

多くの映画の主人公は、最初「やらされ」ていたり「あきらめ」ていたり。そこから「きつかけ」があり、どんな敵や壁にも立ち向かうためにありとあらゆる手立てを考え実行する「主体性」

の塊へと変化、カッコいい主人公の道を魅せてくれます。

では私たちに課題があるとするば、「わかつちやいるけど…」ですよね？主体性が必要なことや大切なことはわかっていても発揮できなかつたり、もってほしい相手にもってもらえなかつたり。相手に主体性を「もたせる」という時点で主体性とは離れている気もします。モチベーションの回でもお伝えした、「本人が内的動機付けをどう設定するか」がやはりポイント。他人ができることがあるとすれば、「場の提供」「フォロ」そして「フィードバック」です。

再び映画をヒントにすると、「仲間が要る」のです。この点で思うのは、年齢に関わらずどなたにも「相談できる人」を作ってほしい、ということ。就職支援の現場で意外に多く聞く言葉は「相談できる人がいない」です。人に話すだけでも「やってみよう」と思うことがあります。主体性をもって動くって勇気の要ることです。勇気を出して主

体性をもって動く人の周りに良い仲間がいる。最高だと思えます。きっとその仲間も主体性のある方々のはずです。

◆働きかけ力…年齢役職を越えた「チーム」で

「自分でやるのはいいいけど、人に頼んだり、みんなに積極的に声をかけたりしていくのはちょっと…」という方も実は多いのではないのでしょうか。周りへの配慮から働きかけることを避ける方も増えている気がします。特に今は「パワハラとか〇〇ハラなんていわれたらどうしよう」のようなご相談も多く、難しい時代に入ったなあと思わざるを得ません。

こんな時代だからこそ、「チーム意識」が大切です。チームだから頼み合う。お互いを助ける。一緒に考える。年齢や役職による「働きかける人がいつも同じ」という方が古いのではないかと思います。

◆実行力…小さく一歩

さて、実行力についてはあまり書く必要もない気が

します。それほど「保育の現場は待ったなし」だと思ふからです。強いて言えば、「緊急ではないけれども重要な課題」についての「実行」ではないでしょうか。日々「緊急課題」が押し寄せてきて、それに対する実行で一日が終わる。それだけでも頭が下がる業務量だと想像します。だからこそ今日やらなくても特に困らないけれども、数年後窮することになるかもしれない人材育成などの問題が課題となるわけです。

これについては、長期的な視野も含めて、目標を明確にし、「実行力」が問われていくこととなります。先日私が担当しているコーチングのあるクライアントさんにこんな質問をしました。「本気で変える気がありますか？」クライアントさんはその質問に対して、イエスともノーとも言わず長い答えを返してこられました。私が「もう一度聞きます。本気で変える気がありますか？」と問うと、クライアントさんは黙ってしまいました。しばらくして「はい」と言えないです。覚悟がな

いです」と。つらい質問だったと思います。でもそのあとたくさん話をして、「一日一つ工夫する」からスタートすることになりました。ポイントは「一歩を大きくしない」でした。

「実行」には結果が伴いますから勇気が必要です。だからこそ、「小さく一歩」。小さくとも実行していれば半年後一年後は大きな前進があります。まずは小さく一歩。そして周りと比べない自分の一歩を踏み出してみてください。

◆今日は明日の昨日

「前に踏み出す力」いかがでしたか？前に踏み出すなら、誰かに無理矢理押されての望まない一歩より、自分から一歩踏み出したほうがいい。隣をみれば仲間がいる。だから勇気をもって足を一歩前へ。今日は明日の昨日。その一歩はあなたの未来を創る一歩です。

次回は2月号で「ブラッシュアップ②の考え抜く力Thinking」をお届けします。



豊中市

地域とともに

子どもたちを見守る

ゆたか保育園

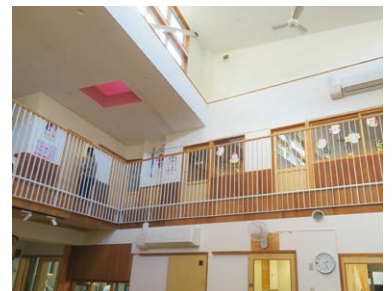
保育所

ゆ たか保育園は阪急宝塚線岡町駅から徒歩5分、商店街や神社など昔ながらの街並みと新しい住宅が混在する場所にあります。

昭和37年に豊中市末亡人会(当時)が豊中市委託ゆたか簡易保育所を開設、平成13年に



木をふんだんに使った園舎



▲吹き抜けを囲むように部屋が配置

保育所に移行しました。令和4年4月に移転した新園舎は、吹き抜けのホールに陽ざしが差し込み木のぬくも

りが感じられる空間です。乳児園庭では、フェンス越しに高齢者の方が子どもたちに話しかけてくれる場面も。園舎の随所に遊び心をくすぐる仕掛けが設けられていました。

乳児は担当制保育で一人ひとりの生活をていねいに見守り、幼児は自ら行動する子どもへ育つよう促しています。敬老の日・七夕には高齢者の方を招き、地域の親子向けベビーマッサージ、ラジオ体操など、地域との交流を大切にされています。

「子どもたちが楽しく生活し、保護者が安心して預けられる園でありたい。町ぐるみで子どもの成長を見守ってほしい」と園長先生は語っておられました。

(編集委員Y・I)

貝塚市

のびのびたのしく
すこやかに

認定こども園 久保保育所

幼保連携型認定こども園

久 保保育所は、昭和47年設立、平成11年の園舎建て替えを経て、平成30年幼保連携型認定こども園となりました。子どもたちが通る門には、大好きなアンパンマンとバイキンマンがお出迎え。自然と笑顔で登園する子ども

たちの姿が見られます。「のびのび たのしく すこやかに」をモットーに、子どもたちの成長に合わせた体力作りを基本に保育を行っています。

お天気の良い日には元気いっぱい、戸外遊びやお散歩へ行き、地域の人が育てている野菜や花を見せてもらいます。園舎の横に流れる川の音を聴いたり、生き物や街路樹の綺麗な紅葉を見たり、落ち葉やどんぐりを拾ったりと、豊かな自然にふれ、楽しそうな声が響き、笑顔が溢れます。

季節に応じた行事を通してさまざまな経験ができるよう工夫しており、夏の夜店ごっこでは年長組がお店屋さんとなり、小さなクラスのお友だちに優しく関わる姿が見られました。保育の中で異年齢の関わりを大切にしていることで、優しさや思いやりが自然に身につく育つてくれていると主幹保育教諭の浅江先生、成長に合わせた言葉かけなど、子どもたちが心豊かに育つよう、一人ひとりに寄り添い成長を見守っておられました。

(編集委員Y・M)



▲壁面にも大きなアンパンマンが

さんぽ

おいしいそばを
楽しみに

昔、社会人が集まるそば打ちサークルなるものに通っていたことがありました。活動内容は、そばの打ち方を見学し、その後、自由に打つというものでした。私は手際が悪いため、麺棒で十分伸ばしきれず、太さも長さも多種多様なそばを作っていました。

各自のそば打ちが終わりだすと、お世話役をされている方の作ったそばが振る舞われます。打ち立てのおそばはとてもおいしく、いくらでも食べられる気がしました。当然ながら、自分で作ったそばとは全然違うものでした。自分のそばもいそそば粉を使っているの、おいしいことはおいしいのですが…。

長続きたのは、そばを打つことが楽しいというより、おいしいおそばを食べられるのが理由だったなと思っています。

(こどものいえK・M)